

平成23年度受賞 社会福祉法人峰悠会 おおぞら保育園

活動を始めた時期：平成15年4月 推薦：群馬県保育協議会長

～活動報告～

食育を保育の年間指導計画の中に取り入れ、食農体験、調理体験のほか、保護者への食育活動も行っている。

食農体験では、地域の方の協力を得ながら、粃まき・田植え・稲刈り・脱穀・餅つきといった年間を通じた米作りを始め、野菜や果物の栽培や収穫なども行っている。また、季節の果物などを収穫した際は、ジャムを作ったり、収穫した野菜を使ってカレーなどの調理実習も行うほか、果物の皮など給食の残菜を動物のえさとして与えるなど、自然豊かな環境を生かし、動植物との触れ合いの中で、食農体験を重視した食育活動を実践している。

保護者に向けた活動では、給食だよりや食育講話、給食の試食会を通し、食育指導を行うことで、保護者も園の食育指導方針に賛同し、協力して食育活動を行っている。

その他、学年ごとに1学期に1回、食事のマナーや栄養と健康などについて給食職員から学びながら、ホールで一緒に給食を食べる「合同会食会」を実施したり、節分、ひな祭り、十五夜などの伝統行事では、伝統食に親しみ、日本の食文化を伝える取組も行っている。

これらの食育活動により、食への関心や興味、食べる意欲を育て、給食の喫食量も増加している。「楽しく食べる子ども」の育成に向け全職員で食育に取り組んでいる。

活動の様子

